

平成二十六年 未さん申さん達の田作り

～第五期あすみっ子田んぼ 稲刈り編～

あすみっ子田んぼの稲刈り日、9月26日は台風の影響で、未明まで雨が降っていましたが、あすみっ子が田んぼに到着するころには雲ひとつない快晴になりました。秋の田んぼには、オニヤンマを始めいろいろな種類のトンボが飛び交い、子どもたちが来るのを待ち構えていました。そして、たわわに実った稲穂は、夏休みに作成してもらったカカシに守られていました。

金谷さんから鎌がとても危険なものであること、稲の葉っぱでもけがをすることなどを話してもらったと、笑顔だったあすみっ子の表情もひきしまりました。その他、スズメバチの対処法やぬかるんだ畦の歩き方など注意点を聞いたあと、キリリとなった顔で稲刈りを始めました。

あすみっ子だけでなく、ボランティアの父兄の方のおかげで、ケガ人もなく(鎌研ぎしていた金谷さんが軽い切り傷を作ってしまったが…)、稲刈りを終えました。秋の谷津田の自然観察し、いつの間にか、みんな、まんべんの笑顔になっていました。そんな子どもたちの感想です。

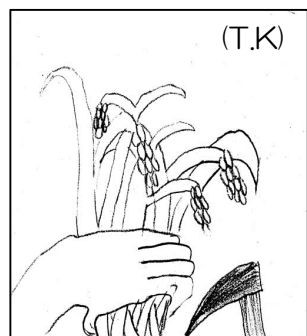
☆最初、稲刈りがちょっとこわくて、やりたくないと思ったけど、稲刈りをやってみたらおもしろかったです。かなやさんの話を聞くと「けがをします」と言われたので、だいじょうぶかなと思いました。稲刈りの時、ボランティアのお母さんが手伝いをしてくれて、どんどん稲刈りもやって楽しくなってきました。稲を結ぶ時も上手にできたのでよかったです。またやりたいです。(A.K)

☆ぼくは稲刈りをしました。前にきたときは、稲が緑だったのが、うすい茶色になっていました。稲刈りをする中であぶないことが4つあって、1つ目がかま、2つ目がはち、3つ目がくりのいが、4つ目がぬかるんでいるところとっていました。稲刈りのかまは、よく切れるので、あぶないといっていたのできをつけてやりました。左手で稲を持って、かまを切りました。ふかいところもたくさんあったのでたいへんでした。(T.A)

☆私は稲刈りをしました。米作りで一番きげんな稲刈りをするので、とてもきん張しました。そして、人生初めての稲刈りをしました。YPPのおじさんが優しく教えてくれたので、がんばってうまくできました。稲刈りはとても大変でつかれてしまいました。そして、草取りの時から来ていなかったの、稲がのびていて、びっくりしました。これが、稲の米になったすがただと思いました。初めての稲刈りで、こわいし、きん張したけど、YPPのみなさんや、地もとの方、お手伝いに来てくれた方のおかげでできました。じゅう実した稲刈りでした。(I.T)

☆今日は田んぼで稲かりをしました。稲かりの説明を聞いていたら、「かま」はすごくきげんで、使い方を気をつけようと思いました。1、こしから上にかまを上げない。2、稲を持って、横に引く、などの説明でした。最初はかんたんかなと思ったけど、やってみたら、けっこうむずかしかったです。私はこの米づくりの学習をとおして、米の大切さ、米を作っている人の大変さを学びました。はじめてやった時は、田んぼの中に入るのをいやだなと思ったけど、どんどん稲が育っていくたびに、早くおいしい米を食べたいと思って、田んぼの中に入ると、早く大きく育ててね!と思うようになりました。この米の学習をして良かったなと思いました。(K.I)

☆初めは、かまが足にあたってけがをしたらどうしようと思っていたけど、だんだん稲を切るのにもなれてきて、束が一気にスパッと切れると



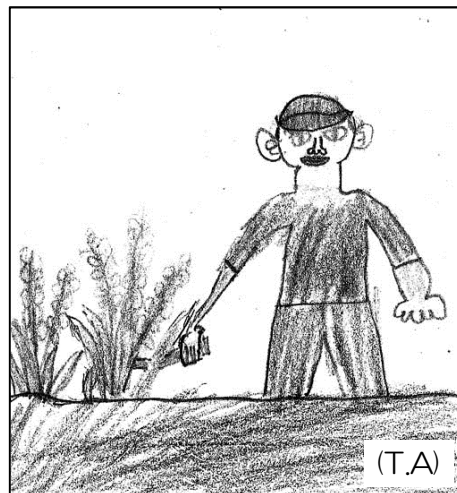
(T.K)

気持ちよくなって、けがもしなく、楽しかったです。自分達が植えた命を刈るので、失敗して殺さなく稲刈りできて良かったです。田植えのときはこれから大丈夫か心配だったけど、無事に稲刈りまでこけて、金谷さんや、YPPの方や、ボランティアの方々にはすごくお世話になったので、感しゃしたいです。(T.K)

☆私はすごく稲かりが楽しみでした。稲かりをする前に、金谷さんが、私たちが1歩歩く



(Y.K)



(T.A)

のに虫やせいぶつが10万びき死んでしまうということが分かりました。なので、私はできるだけ1歩1歩大切にしました。次に、私に稲のかりかたを教えてくれた人がすごく優しく教えてくれたので良かったです。最初はわからなかったけど、ボランティアの方たちとやっているうちに、私を教えてくれた人が「しょう達しているね」といってくれたので、うれしかったです。あと、かまを使うことは初めてだったので、少しこわかったです。私たちが5月からがんばってそだてたお米をはやく食べてみたいです。きっとおいしいと思います。(Y.N)

☆稲かりは最初にやった時はあまりうまくいかなかったけど、やっているうちにどんどんコツがつかめてきて、うまく出来るようになりました。そして、金谷さんの言うとおりの、稲の葉はうら、おもてさわった感じがざらざらしていました。今までの田んぼのお仕事で、命を育てる仕事の大切さがあらためてわかりました。また稲を育てるといことは、共にきけんなこともある、ということがわかりました。谷津田での体験は金谷さんやボランティア、YPPのみなさんのおかげで楽しく安全にすることができたから、そのみなさんには感謝しています。この体験を日々いかしていきたいと思います。(J.I)

☆九月二十六日に稲刈りに行きました。金谷さんの話で、「米作りで一番や二番めをあらそうくらいきけん」と言われたので、稲刈りをするのがいやになりました。でも、田んぼの中に入って稲刈りをするのが楽しくてたまりませんでした。稲刈りをやっている中、虫の音が聞こえてくるのもすごくきれいな声でした。稲刈りが終わったあと、この日で田んぼに来るのは最後だったので、ちょっと悲しくなりました。今度田んぼに行ける日があたらしいなと思いました。(Y.M)

☆私は稲刈りの体験をしました。生まれて初めて稲刈りをするので、金谷さんに「稲刈りが米作りをする中で一番か二番をあらそうくらいきけんな作業だから、ちゃんとしんけんにやってください。」と言われた時は、ものすごくかまを持つのがこわかったです。でも、ボランティアの方といっしょに稲刈りを行っているうちに最後には自分一人で稲刈りができるようにまで上手になって、すこしうれしかたし、稲刈りが楽しいなと思いました。自分たちが育てたお米がこんなに大きくなって、そして、自分たちの手でしゅうかくできて、とてもうれしかったです。お米の味がとても気に入ります♪♪(Y.K)

☆ぼくは稲かりを初めて体験しました。金谷さんが「このかまはふつうの物ではなく技物です。」と言っていたので、金谷さんの言った説明どおりに稲をやってみると、きれいに切れました。4~5本切るとなれてきて1本目よりきれいに切れてきました。めあてを達成しました。こんなきちょうな体験をさせてもらって、こんなにちゃんと育てていたのは、手伝ってもらった方々のおかげ、とあらためて思いました。稲かりはすごく楽しかったです。(S.K)



スズメバチに注意！

9月の下大和田 YPP の稲刈りの時に参加者がスズメバチに刺されるアクシデントがありました。田んぼの脇の舗装された道を歩いていた時に突然、頭の後ろを刺されたということでした。救急車で病院に搬送して手当を受けましたが、刺された箇所の痛み、発疹、唇のしびれなどがあったものの、幸い大事に到らずに済みました。

刺された場所を調べたところ、道路に面した斜面の木の根元にオオスズメバチの巣があり、ハチが低いところをしきりに出入りしていました。恐らくその場所を通りかかった時に巣に出入りしようとしていたスズメバチと偶然はち合わせをして刺されてしまったものと思われます。道路に面した場所に巣があるので、誰が刺されても不思議でない状況です。ハチには申し訳なかったのですが、業者をお願いして巣を撤去してもらいました。

YPP の活動では毎回スズメバチに注意するよう促して、スズメバチに出会った場合の対処方法を伝えていましたが、今回のように突然襲われては防ぎようがありません。私たちとしては活動範囲にスズメバチの巣がないか事前に十分確かめるようにします。そして参加する皆さんにはむやみに林やヤブの中に入らないようお願いしたいと思います。オオスズメバチの巣は特にわかりにくい場所にありますので、ハチの活動が活発になる秋は特に気をつけてください。

よろしくをお願いします。

(高山 邦明)



里山たんけんレポート

第 176 回 下大和田谷津田の観察会とゴミ拾い

2014年9月7日(日) 小雨

トンボの調査を兼ねて観察会を行う予定でしたが雨でトンボ調査には適さないため取りやめ次回観察会で行うことにしました。山から巡りましたが、キノコが幾種類も出ていて楽しめました。カワラダケの仲間、ドクツルタなどツボとツバのある毒キノコの代表のようなテングタケの仲間が多いようでした。特に傘の表面が灰色で表面に何の付着物もないコテングタケと思われるものが多く見られました。山や林縁ではジョロウグモが大分大きくなってきました。田んぼに出るとナガコガネグモが丸々と太って大きくなっていました。大きな巣には小柄な雄の他にもイソウロウグモやギンメッキゴミグモがいました。ある巣では驚いたことに仔カエルが巣にかかり腿から先の足が見え体の部分にはクモが取りついていました。オオシロカネグモ、アシナガグモ、ドヨウオニグモ、オオトリノフンダマシなどがみられました。雨で巣に水滴がつき巣が際立ちきれいでした。雨模様でカタツムリの仲間が這い回っている姿も目立ちました。おなじみのミスジマイマイ、オナジマイマイのほかにコハクオナジマイマイや空貝でしたがキセルガイも拾いました。きれいな虫ではタマムシ、ヨツボシハムシがスマートな虫ではツコムシ、豪快なオニヤンマなどが見られました。ハッカの花が咲き始め、香りや味を楽しんだりもしました。

雨の谷津も見どころ多く楽しい観察会でした。

(参加者 大人5名、高校生3名； 報告：網代春男)

第 165 回 下大和田 YPP「コシヒカリ・農林一号・黒米の稲刈り」(第 8 回米づくり講座)

2014年9月13日(土) くもり

3連休の初日にもかかわらず、50人ほどの皆さんが参加してくださり、にぎやかに稲刈りをしました。

スタッフは1時間前に集まってオダの準備。皆さんが集まって稲の刈り方の説明をしてから稲刈りをスタート。小さな子どもたちも飽きることなく刈り続けて大きな力になってくれました。よく実っていて量があったのと、雑草がひどい場所があったせいで時間内に終わらず、有志が残って作業してコシヒカリを刈り終えました。残った農林一号と黒米は翌日の日曜日に再び集まってくれたメンバーで刈りました。田んぼをぐるっと一周するオダに稲がいっぱい掛かっている風景は見事です。

(参加者 大人29名、子ども21名、報告 高山邦明)



(写真：田中正彦)

第 166 回 下大和田 YPP「コシヒカリ・農林一号・黒米の脱穀」(第 9 回米づくり講座)

2014年9月27日(土) 晴れ

13日に刈った稲を脱穀しました。2日前が雨だったので、翌日晴れて風も吹いてしっかり乾いてくれました。ハーベスタというエンジンで動く大きな機械を使っての作業なので、十分な注意が必要です。機械任せのところがある作業です。でも、ハーベスタが順調に動いてくれ、また、参加した皆さんが稲の運搬から脱穀機を通した稲束に残ったモミを取り出す作業まで実にテキパキとやってくださったお陰で、YPP 田んぼから隣のマイ田んぼまでの大量の稲を脱穀し終えることができました。モミがたくさん詰まった袋にみんな満足顔です。

(参加者 大人23名、子ども11名、報告 高山邦明)



(写真：田中正彦)

第 112 回 小山町 YPP「コシヒカリの稲刈り」

2014年9月20日(土) 小雨

小山もコシヒカリの稲刈りからスタート。早く植えたところは稲が倒れ始めているので早く刈らないといけません。あいにくの雨模様。そんな中、遠く稲毛からカッパを着てかけつけてくれたご家族がいてうれしい限りです。稲刈りとオダ作りを同時作業。少人数なのでなかなかはかどりませんが、みんなでおしゃべりをしながらの楽しい時間でした。

小山の米づくりは定例の週末の活動日以外に平日にお母さんが中心となって行っています。稲刈りもその後、平日や週末の有志の活動で少しずつ進んでいます。

(参加者 大人5名、子ども2名、報告 高山邦明)



<谷津田・季節のたより>

小山町

- 9月 7日 モズの高鳴きが聞こえる。田んぼのあぜでタカサブロウがたくさん開花（高山）。
- 9月 20日 キジの家族が田んぼから飛び立つ。水路に落ちていた子どものヤマカガシを救出（高山）。
- 9月 23日 赤く色づいたマユタテアカネが田んぼにたくさんいた（高山）。

下大和田

- 9月 13日 ハグロトンボやオニヤンマが水路、田んぼを飛び。田んぼには真っ赤に色づいたマユタテアカネ。モズが高鳴き（高山）。
- 9月 27日 緑米の花がほぼ終わる。ナガコガネグモの卵塊を見かける（高山）。

イベントのお知らせ

谷津田ってどんなところ？ と興味をお持ちの方、お米づくりを経験してみたいなと思っている方、YPPのイベントには大人から子どもまで、はじめての方でも好きな時にご参加いただけます。家族で、お友達どうして、もちろん、お一人でも気軽にいらして下さい。

連絡先（いずれも）：ちば環境情報センター（TEL&FAX：043-223-7807 E-mail：hello@ceic.info/）

ご注意：・車でこられる方は必ず指定の駐車場に止め、農道などにおかないください。

- ・近くにトイレがありませんので、集合前に一度済ませておくご協力をお願いします。
- ・小学生以下のおさんは保護者同伴で参加ください。
- ・けがや事故がないよう十分な注意は払いますが、基本的に自己責任でお願いします。

▼下大和田 YPP 第 167 回「緑米・赤米の稲刈り」(兼第 10 回米づくり講座) 第 168 回「同・脱穀」(兼第 11 回米づくり講座)

実りが遅い緑米と赤米を刈って脱穀をします。脱穀については稲の乾燥具合や天気によって日程が変わる可能性がありますので、当日や前日の天気が悪い場合はホームページで確認をお願いします（前日にはお知らせします）。

日 時： 稲刈り 2014 年 10 月 25 日（土）

脱穀 2014 年 11 月 8 日（土）いずれも 9 時 45 分～14 時 *小雨決行

場 所： 千葉市緑区下大和田谷津田（ちば・谷津田フォーラムのホームページで地図をご覧ください。また、ご連絡いただければ地図をお送りします。）

集 合： 中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に 9:45（JR 千葉駅 10 番成東あるいは中野操車場行きのはらばらバスで 45 分<千葉駅発 8:23、8:38 など> 料金は 520 円）

持ち物： 弁当、飲み物、長靴、帽子、軍手、敷物など。

参加費： ちば環境情報センター会員および家族 100 円、一般 300 円、小学生未満無料

主 催： ちば環境情報センター 共 催： ちば・谷津田フォーラム

▼第 178 回 下大和田 11 月の谷津田観察会とごみ拾い

黄色に染まってきた谷津は秋の花々、木の実などで賑わっています。今シーズン最後のトンボの調査も行います。

日 時： 2014 年 11 月 2 日（日）9 時 45 分～12 時 ☆小雨決行

場 所： 千葉市緑区下大和田谷津田（同上）

集 合： 中野操車場バス停向かいラーメンショップ脇に 9:45（下大和田 YPP に同じ）

持ち物： 筆記用具、飲み物、長靴、帽子、敷物、ゴミ袋、午後まで活動する方は弁当など

参加費： 100 円（小学生以上、資料代など）

主 催： ちば・谷津田フォーラム 共 催： ちば環境情報センター

▼ちば里山くらぶ活動日 谷津田の森と水辺の手入れ

日時：2014 年 10 月 12 日（日）、10 月 17 日（金）いずれも 9 時 45 分～15 時

場所：千葉市緑区下大和田谷津田（同上） 持ち物：飲み物、弁当、長袖長ズボンの服装、長靴、帽子、敷物

主催：ちば環境情報センター

▼第 113 回 小山町 YPP「コシヒカリ・黒米の稲刈り」

遅れているコシヒカリと黒米の稲刈りをします。皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

日 時： 2014 年 10 月 13 日（月・祝） 10:00～12:30、小雨決行

場 所： 千葉市緑区小山町 リンドウ広場（ご連絡いただければ地図をお送りします）

持ち物： 飲み物、長靴（田んぼが深いので長めがいい）、帽子、軍手、敷物。

参加費： 100 円（小学生以上、資料代など）

主 催： ちば環境情報センター

編集後記 今年のコメの作況は天候不順で西日本では良くなかったものの、東北から北海道が豊作で全体としては平年並みとのこと。千葉県でも“やや良”。うれしい話かと思ったら、平年並みでは供給過剰になってしまい、お米の値段が下がって農家の収入に影響が出るようです。昨年のお米もまだたくさん残っていると。平年並みではダメというのは何とおかしなことですが、コメの消費が落ち込んでいる現状では致し方なく、主食のお米からの生産切り替えをしないといけないようです。この季節、千葉の田舎をドライブするとスキヤセイタカアワダチソウの草地になっている放棄田をあちこちで見かけるのですが・・・ みんながもっとお米を食べることも谷津田の保全に大切なのでしょね。（高山 邦明）